

慶應義塾大学2024年度新入生歓迎行事

笠井 叡 ポスト舞踏公演

Kasai Akira

Post Butoh Performance

# 未完成

*Die Unvollendete*

出演 笠井 叡

音響・照明 曾我 傑



2024年 5月15日(水) 18:00 開演 17:00 開場

慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎イベントテラス

横浜市港北区日吉4-1-1

東急東横線・東急目黒線・東急新横浜線・横浜市営地下鉄

グリーンライン 日吉駅下車

入場料無料 Admission Free

Keio University Hiyoshi Campus, Raiosha, Event Terrace

Hiyoshi 4-1-1, Kohoku-ku, Yokohama

Access from Hiyoshi Station

(Tokyu Toyoko / Meguro / Shin-yokohama Line /

Yokohama Municipal Subway Green Line)



新入生の方々、入学おめでとうございます。いつの時代もそうですが、社会が混沌とした渦の中に巻き込まれているような時代ですが、自我の光を照らしながら、ゆっくり歩み続けてください。

個人的なことです。シューベルトの『未完成』は、僕が今から45年前、日本から、当時の西ドイツへ移住しようと決意した時に、有楽町の第一生命ホールで最後に踊った曲です。

アランフェス協奏曲は、僕のデビュー・リサイタルの時に、大野一雄先生が振付てくれた曲です。

「冬の旅」は、僕の旅のテーマソングです。

笠井 叡 (記)

## 笠井 叡 Akira KASAI

### 【出演者プロフィール】

笠井叡は1943年三重県で生まれた。裁判官であった厳格な父親、笠井寅雄の影響下で幼少時代を過ごす。1954年9月26日の洞爺丸海難事故で父親を亡くす。キリスト教の洗礼は受けていないが、教会生活は長く、「イエスの復活」という歴史的事実は笠井にとって生涯のテーマとあっていい。江口隆哉・宮操子のスタジオで学んだことでダンスの世界に入り、後に大野一雄に出会い、三年間、個人指導を受ける。1963年10月、朝日講堂で「儀儀」を踊ったことが遠因となって土方巽と出会い、1965年11月「バラ色ダンス—A LA MAISON DE M. CIVECAWA」(千日谷会場)に出演する。1971年天使館設立、1979年から1985年までドイツに在住した。オイリュトミー、パントマイムも視野に入れ、狭い意味での「舞踏」に囚われない表現者である。

文章家としても高い評価を得ており、神秘性、精神性を重視する姿勢は、『天使論』、『聖霊舞踏』、『金鱗の鰓を取り置く術』、細江英公との共同による写真集『透明迷宮』ほか多数の著作として結実している。その範囲は、西洋神秘学から日本の大石凝真素美『真訓古事記』まで及び、その表現は、単なる日常言語を超えて「ダンス」にまで昇華されて、熱烈なファンを持つ著述家でもある。「大宇宙の音楽が聴こえる」(『聖霊舞踏』, p.9)あるいは「聖霊とはエネルギーであって、これなしに人は一瞬たりとも生きることができない」(『聖霊舞踏』, p.26)と笠

井が述べる時、例えばジョン・デイヴィース(Sir John Davies, 1569-1626)の詩に表れている—森羅万象を踊りとして捉える—ヨーロッパ前近代の《ダンス宇宙観》と通じ、現代日本を超えた宇宙性と歴史性がそのコトバにも姿を現わす。

笠井は『カラダと生命—超時代ダンス論』の冒頭で次のように述べる、「歴史というものが常に生きた存在として変化し続けている限り、どんな時代も一つの転換期です。けれども、一人の間人はすべての時代を生き続けているのではなく、ある特定の時代を生きているわけですから、自分が生きている時代そのものが、どのような転換期であるかをリアルに感じ取るためには、歴史全体を俯瞰することができるような、何らかの想像力を駆使しなければなりません」。この言葉に表れているように、笠井は、踊りにおいても、現代性、社会性を強く意識する。そして、2013年度「日本国憲法を踊る」で芸術選奨文部科学大臣賞を受賞している。笠井叡の慶應義塾大学新入生歓迎舞踏公演への出演は、2010年度「詩と舞踏のセッション：閃光のスフィア」(吉増剛造との共演)、2020年度「日本国憲法を踊る」、2021年度「使徒ヨハネを踊る」、2022年度「今、シヨパンを踊る」に続いて五度目である。

(小菅隼人記)

出演：笠井 叡  
音響・照明：曾我 傑

曲目：フランツ・シューベルト作曲 交響曲 ロ短調『未完成』第1楽章 第2楽章  
ホアキン・ロドリゴ作曲 アランフェス協奏曲 第2楽章  
フランツ・シューベルト作曲 歌曲『冬の旅』より「辻音楽師」他数曲

主催：慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP)  
慶應義塾大学アート・センター

協力：慶應義塾高等学校・ポートフォリオ BUTOH

コーディネーター：小菅隼人

問合せ：慶應義塾大学アート・センター

108-8345 東京都港区三田 2-15-45 Tel 03-5427-1621

Contact: Keio University Art Center

Tel 03-5427-1621

Email [ishimoto@art-c.keio.ac.jp](mailto:ishimoto@art-c.keio.ac.jp)

詳細は HP をご覧ください。

